

令和8年度(2026年度)
東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科
公開講座

オンライン開催
参加無料



先をみる医療

—医療・教育・研究がつなぐ健康社会の実現—

開催日:2026年5月23日(土)
13:00~15:00



坂本 すが
東京医療保健大学大学院
医療保健学研究科 研究科長

ごあいさつ

本年度も、18回目となる大学院医療保健学研究科公開講座を開催する運びとなりました。医療を取り巻く社会は日々めまぐるしく変化しています。

一つの専門だけでは答えが出ない場面も増え、現場・教育・研究を行き来しながら、新しいかたちを探っていく時代になりました。本講座では、それぞれ異なる立場や専門からの取り組みを持ち寄り、「少し先の医療」を考える機会としたいと思います。

第一部は、本研究科博士課程を修了された方による研究発表です。急性期病棟における看護師と看護補助者の協働に着目し、業務の分担や指示に基づく分析から、タスクシフト・シェアを見つめ直す視点を提供してくれます。

第三部は、本学の教員が各々の専門分野から講演を行います。今回は、現場の対話記録をAIで分析し福祉用具のエビデンスを整理する試みや、デジタル教材と体験学習を組み合わせた子どもへの食育、共働き世帯の働き方が看護師の健康や看護の質に与える影響、さらに「看護」という営みを言葉で捉える哲学的講演など、多様なテーマで構成しています。

いずれも、未来の医療や社会をより良くしていくための重要な視点を提供するものです。

本学の学生・卒業生、教職員はもちろん、医療に関心をもつ地域の方やこれから進学を考える皆さんにとっても、新しい発見や学びのきっかけとなることを願っています。

第一部 研究発表 (13:05~13:25)

タスク・シフト/シェアに資する看護師の看護補助者との協働に関する研究
—急性期一般病棟に勤務する看護師の指示出しの実践状況と個人特性・組織特性との関連—

堀込 由紀氏 (東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 博士課程看護学領域 2025年度修了生)

第二部 教育講演 (13:30~14:55)

現場の声を見える化する—逐語録データとAIによる福祉用具のエビデンスの整理—

岩上 優美 先生 (東京医療保健大学 医療保健学部医療保健学科医療情報学専攻 講師)

デジタル教材と体験学習を融合した子どもへの食育

齋藤 さな恵 先生 (東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 医療栄養学領域 教授)

なぜ看護師は眠れないのか？

—共働き夫婦としての働き方が女性看護師の健康と看護の質に与える影響—

中山 純果 先生 (東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 看護マネジメント学領域 准教授)

日本語で「看護」を考える

山本 伸裕 先生 (東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 教授)

お申し込み方法・お問い合わせ先のご案内



①②いずれかの方法でお申し込みください。

①スマートフォン・タブレットより
お申し込み

②PCよりお申し込み

<https://business.form-mailer.jp/fms/e0f15f11342319>

QRコードを読み取ってください。



東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 公開講座係

〒141-8648 品川区東五反田4-1-17

☎ 03(5421)7685

✉ info-master@thcu.ac.jp

同日にオンライン入試説明会も開催いたします！

公開講座終了後、16:00～オンライン入試説明会を開催予定です。
詳細は追って本研究科HPに掲載いたします。以下リンク先をご参照ください。

<https://www.thcu.ac.jp/graduate/healthcare/>

